

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

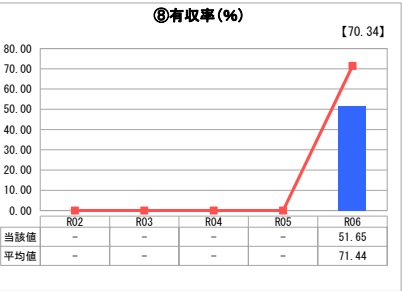
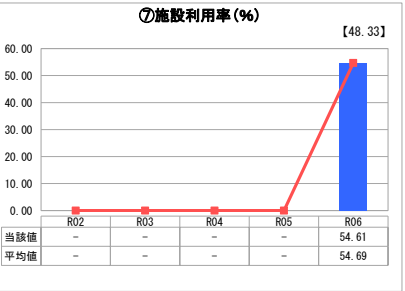
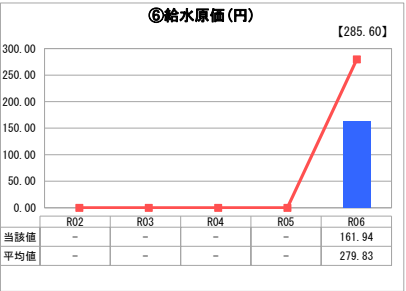
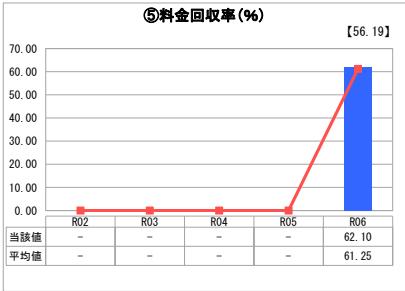
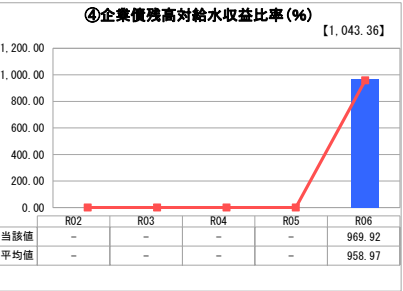
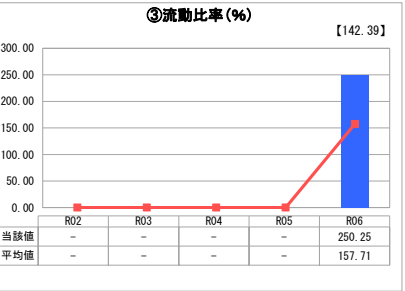
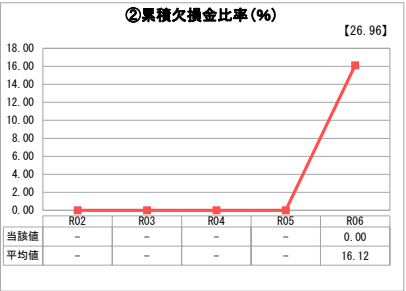
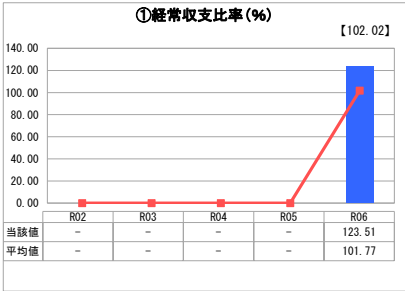
群馬県 東吾妻町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	62.73	94.21	2,420	

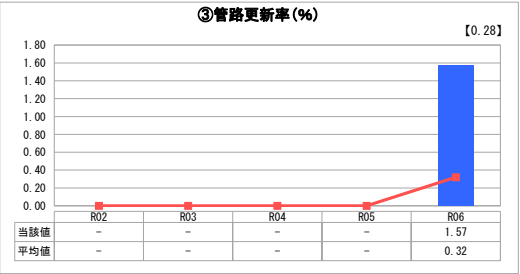
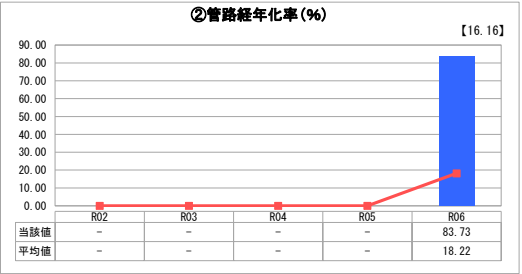
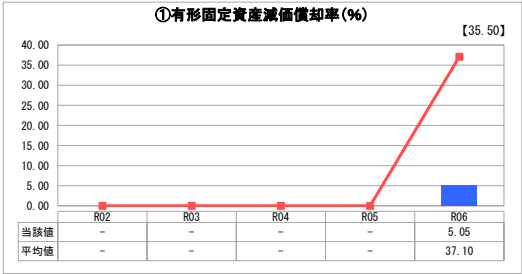
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,061	253.91	47.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,537	13.58	186.82

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
6年度については100%を超えているが、一般会計からの補助金による収入の影響が大きい。経費削減や料金改定などにより財源を確保し一般会計からの収入に依存しないよう努めていく必要がある。

③流動比率  
①と同じ。

④企業債残高対給水収益比率  
数値としてはほぼ平均値となっているが、必要な管路更新が滞っている状態である。料金改定を行い財源を確保し適切な運営に努めていきたい。

⑤料金回収率  
料金改定を行い少しでも改善していきたい。また、施設についても検討を行い長い目で見た改善が必要である。

⑥給水原価  
水源に恵まれているため、安価で供給できているが、今後給水人口減が見込まれるため、徐々に給水原価の上昇が見込まれる。

⑦施設利用率  
供給能力が過剰な状態である。今後の人口減も見こして施設についても長い目で見た改善が必要である。

⑧有収率  
計画的な管路更新ができていないため、施設にがたがきている状況である。状況の悪い施設から漏水調査等を実施し、改善に向けて取り組みたい。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
公営企業会計移行に伴い数値は低くでているが、施設のほとんどは対応年数を経過したものである。

②管路経年化率  
ほとんどの管路が対応年数を経過したものである。経費削減や料金改定により自主財源を増やし長い目で見て改善に取り組んでいきたい。

③管路更新率  
上信自動車道建設工事に伴い移設を実施したため更新率は高い数値となった。  
その他は②と同じ。

## 全体総括

東吾妻町簡易水道エリアは、旧東村と旧吾妻町の山間部で形成されており、町内で特に人口の減少がいちじるしい地域であるため、独立採算での経営は非常に困難な状況である。  
しかし、経費削減や料金改定などを実施し自主財源を少しでも増やし、計画的に長い目で見た経営に努めていきたい。